

## 平成27年度 仙台大学大学院授業概要

<b>授業科目名</b>	スポーツ情報戦略特講 Sport Intelligence	<b>担当教員</b>	栗木一博/勝田 隆			
<b>領域水準コード</b>	<b>単位数</b>	2単位	<b>履修方法</b>	選択	<b>授業の方法</b>	講義
<b>授業の概要</b>						
<p>トップスポーツのコーチングや競技力向上を目的とする組織の意思決定において、情報を戦略的かつ効果的に活用することは、成果の創出において不可欠な営みである。本構では、情報戦略活動が必要とされる背景やニーズを歴史から紐解くとともに、実際の情報戦略活動において求められる人材の役割や資質、能力について学ぶ。またスポーツ以外の諸領域における情報戦略活動についても、その理論や実例を扱いながら、情報戦略活動を行なう上での原理原則や高度なスキルについて深く検討する。</p>						
<b>授業の一般目標</b>						
<p>情報戦略活動を行なう上での原理原則を理解する。また、状況に応じた情報の戦略的かつ効果的な活用について、求められる情報活用スキルを適用しつつ、適切にその運用ができるようになる。</p>						
<b>授業の到達目標</b>						
■ 認知的領域	情報戦略に関わる歴史の変遷、社会的ニーズ、現状の課題、国際的動向などを、史実や事例を通じて深く知る。					
■ 情意的領域	情報戦略の意義や価値、あるべき姿について本質的に考え、創造的に検討を加える視点や態度を身に付ける。					
■ 技能表現的領域	情報戦略に必要な基本的及び応用的なスキルについて知り、状況に応じたスキルの適用について理解する。					
<b>授業計画(全体)</b>						
<p>各授業テーマに沿った資料を用いた講義とワークショップを中心にすすめる。より理解を深めるための視聴覚教材も用いる。各授業毎に、授業の感想と課題を授業内小レポートとして提出させることで、理解度・到達度を確認する。また、授業の進み具合によっては、協同作業としてのグループワークやレポートの発表等も行う。</p>						
<b>授業計画(詳細)</b>						
回	授業テーマとその内容					
1	[テーマ] オリエンテーション [内容] 担当教員の紹介、授業の目標と進め方、シラバス説明、成績評価の方法	9	[テーマ] スポーツ情報戦略「組織」② [内容] 情報戦略に関わる組織・機構について			
2	[テーマ] スポーツ情報戦略とは何か [内容] 情報戦略の定義・機能・特徴	10	[テーマ] スポーツ情報戦略活動の実際① [内容] 競技フィールドにおける情報戦略について			
3	[テーマ] なぜスポーツ情報戦略なのか [内容] 情報戦略の歴史の変遷・活動誕生の背景とニーズ	11	[テーマ] スポーツ情報戦略活動の実際② [内容] スポーツ統括機関における情報戦略について			
4	[テーマ] スポーツ情報戦略「プロダクト」① [内容] 情報戦略で用いられる情報成果物・アウトプットについて	12	[テーマ] スポーツ情報戦略活動の実際③ [内容] スポーツ政策における情報戦略について			
5	[テーマ] スポーツ情報戦略「プロダクト」② [内容] 情報戦略で用いられる情報成果物・アウトプットについて	13	[テーマ] 情報を扱う「人」 [内容] スポーツ情報戦略人材に求められる資質・能力			
6	[テーマ] スポーツ情報戦略「プロセス」① [内容] 情報戦略活動の段階と方法について	14	[テーマ] プレゼンテーション [内容] 受講者によるプレゼンテーション(課題は授業内で事前に連絡)			
7	[テーマ] スポーツ情報戦略「プロセス」② [内容] 情報戦略活動の段階と方法について	15	[テーマ] 総括 [内容] 総括と自由討議			
8	[テーマ] スポーツ情報戦略「組織」① [内容] 情報戦略に関わる組織・機構について	16	[試験または課題] 情報戦略に関するレポート課題 [方法] 情報戦略に関するレポートを執筆する。テーマは事前に通知する。			
<b>授業外学習の指示等</b>						
<p>各回で配布される情報戦略に関わる論文や資料について、授業外時間を用いて各々に検討を加える。そのことについて授業時間内で論議することもある。その他、授業毎に指示があった場合はそれに従う。</p>						
<b>成績評価方法(方針)</b>						
<p>本構に対する貢献度(30%)、授業内外のレポート(30+20%)、及び最終課題(20%)を評価する。</p>						
<b>成績評価方法(詳細)</b>					<b>履修上の注意(受講に当たって学生に望むこと)</b>	
到達目標	認知的領域	情意的領域	技能表現的領域	評価割合 (%)	<p>成績評価方法の「その他」では、本講に対する貢献度を評価します。本講では、本質に向きあう真摯な態度や積極的な行動が重要であり、そのためには履修者自身の持つ視点や考え方、情報が相互に十分に共有されることが求められることがその理由です。</p>	
定期試験(期末試験)	◎	○	○	20		
小テスト・授業内レポート	○	◎	○	30		
授業外のレポート	○	◎	○	20		
ポートフォリオ						
出席						
その他		◎	○	30		
<b>関連科目</b>	スポーツ情報戦略演習					
<b>教科書</b>	特に指定しない		<b>参考書</b>	必要に応じて提示または資料を配布する		
<b>連絡先</b>	栗木研究室:E棟2階 TEL 0224-55-5079					